

前文

- ・ 私は大阪維新の会、大阪市会議員団を代表いたしまして、令和 8 年度予算案並びに関連諸案件について質問させていただきます。
- ・ 市長人気の最終年度ということもあり、公約に掲げ順次進めてまいりました。
- ・ ゼロから 0～2 歳児保育無償化についても今年度全ての世帯へ支援が行き届くよう予算編成をしていただきました。
- ・ また子育て世帯のみならず、高齢者の健康寿命促進にも積極的に取り組む予算を計上されております。
- ・ さらに、市民生活の安心、安全にかかわる上下水道耐震化にもスピードアップを図るとともに、避難所における QOL 向上のための取組にもしっかりと予算を計上しておられます。
- ・ このような観点で以下、具体的に質問をさせていただきます。

(300 字)

1 令和8年度当初予算及び今後の財政運営について

- ・ 初めに令和8年度当初予算及び今後の財政運営についてお伺いします。
- ・ 市長は、令和8年度当初予算において、市民サービスの充実と大阪の成長という方向性を基本に、大阪の未来を担う子どもとその子どもを育てる^{せたい}世帯への重点投資や、府市一体で万博のレガシーを継承する新たな成長戦略の取組の実行など、幅広い^{しさく}施策に取り組む予算を計上されています。
- ・ とりわけ、^{ゼロからに}0～2歳児保育無償化について、第1子無償化の実現として第一歩を踏み出されたことは大いに評価できます。
- ・ こういった取組が実現できるのも、安定した財政基盤があってこそで、この間の市政改革の取組により本市の財政状況は改善し、税収も過去最高を更新するなど、財政健全化が着実に進んでおり、財政調整基金も確保できています。

次のページへ

- ・しかしながら、令和8年度当初予算は3年連続の収支不足、今後の財政収支概算（粗い試算）でも、試算期間を通じて収支不足が生じ、試算期間の後半には収支不足額が拡大する見通しとなっています。
- ・また、物価・賃金・金利の上昇が続き、財政状況は予断を許さない中、さらなる大阪の成長と発展に向け投資を続けていくためには、引き続き市政改革の取組と、より効率的な行財政運営により収支改善を図り、収入の範囲内で予算を組む原則に則り、将来世代へ負担を先送りしない、健全で規律ある財政運営を行っていくことが必要です。
- ・令和8年度当初予算をどのような考えのもと編成したのか、また、現在の財政状況を踏まえ、今後の財政運営をどのように行っていくのか、市長のご所見をお伺いします。（642字）

2 子育て・教育環境の充実について

2-1 0～2歳児の保育無償化の実現について

- ・次に、子育て・教育環境の充実について、お伺いします。
- ・^{ゼロからに}0～2歳児の保育無償化の実現について、お伺いします。
- ・市長は、公約に掲げておられた0～2歳児保育料無償化について、令和8年秋から、第1子を含む0～2歳児全員の保育料を無償化することを決断されました。
- ・我が会派としても、将来にわたり大阪が発展する土台づくりのためには、大阪の未来を担うこども、また、そのこどもを育てる世帯に重点投資し、子育て・教育にお金がかからない大阪を作ることに全力で取り組むべきだと考えており、今回、第1子保育料無償化実施の決断をされたことは、大いに評価しています。
- ・一方、昨年11月の市会本会議で、我が会派の原口議員より、令和7年4月の待機児童がゼロにはなったものの、利用保留児童は2,500人を超えている状況を踏まえ、第1子の保育料無償化を実施するにあたっては、保育施設を利用したいと思うすべてのご家庭が恩恵を受けられる状態を目指す必要があると指摘したところでした。

次のページへ

- ・ 市長は、これまでも、保育無償化を実現するために乗り越えていかなければならない課題のひとつとして「保育を必要とする人が入所できる環境の確保」を^あ挙げてこられました。
- ・ 第1子の保育料無償化実施を決断されるにあたり、入所枠確保の課題についてどのように考え、今回の判断に至ったのか、具体的な取組等と併せて市長のご所見をお伺いします。 (571字)

2-2 在宅等子育て家庭への電子クーポンの配付について

- ・次に、在宅等子育て家庭への電子クーポンの配付についてお伺いします。
- ・^{ゼロからに}0～2歳児の約半数は、在宅等^{とう}で子育てをしており、孤立した育児の実態が見られ、育児疲れやストレスを抱える家庭も多いことから、本市ではこれまで、精神的・身体的負担の軽減策として、子育て応援ヘルパー派遣事業や、こども誰でも通園制度など、在宅等育児への支援に取り組んできました。
- ・そのような中、市長は、0～2歳児の保育無償化において、令和8年秋から、在宅等で子育てをする家庭に対し、経済的負担の軽減策として電子クーポンを配付すると判断されました。
- ・子育てサポートアプリを活用した電子クーポンの配付は、在宅等^{とう}育児への支援をより一層充実させる取り組みであり、我が会派がこれまで求めてきた民間ベビーシッターの活用等による子育て家庭へのレスパイトケアに加え、保育所等に通わないこどもにも必要な育児サポートが行き届くことが期待できるため、本取り組みは大いに評価するものであります。

次のページへ

- ・そこで改めてお伺いします。
- ・在宅等子育て家庭に対し、電子クーポンを配付する目的は何か、また、第1子保育料の無償化と電子クーポンの配付を一体的に実施することで、どのような子育てしやすい環境を実現していこうとしているのか、市長のご所見をお伺いします。 (534 字)

2 子育て・教育環境の充実について (返し)

2-2 在宅等子育て家庭への電子クーポンの配付について

- ・ わが会派としても、^{ゼロからに}0～2歳児の保育無償化は公約として掲げてきた重要な政策であり、この間、様々な角度から質疑を重ね実現を求めてきました。
- ・ 今回、保育無償化とあわせて在宅で子育てをされている家庭への電子クーポンの配布が実現されたことは、大きな前進であると受け止めています。
- ・ 今後も、保育を必要とする方が安心して利用できる環境の確保と、在宅で子育てをされている家庭への支援の両立を図りながら、日本一の子育て・教育サービスの実現に向けて、わが会派としてもしっかり後押し前進していきたいと考えています。 (244 字)

2-3 不登校への取組について

- ・次に、本市の不登校対策についてお伺いします。
- ・令和6年度の本市の不登校児童生徒数は、全国と同様に増加が続いており、小学校で2.05%、中学校で9.55%の在籍比率で合計7,187人となっています。この状況は本市の不登校対策にとって重大な課題です。
- ・その解消の一つとして、不登校児童生徒や登校しづらい、または登校しても教室に入りづらい児童生徒に教育の機会を確保するスペシャルサポートルームについて、わが会派からその充実を要望してきたところです。
- ・本市では、令和6年度からスペシャルサポートルームのモデル設置を実施しておりますが、この事業をどのように検証しているのでしょうか。
- ・また、子どもにとっての1年という時間は非常に貴重であり、不登校児童生徒に対して1年でも早く必要な支援につなげることは、一人ひとりの将来を考えると大きな違いになります。希望する学校には早急に設置を支援していくべきであると考えますが、今後の展開について教育長の見解をお伺いします。 (411字)

2-3 不登校への取組について

(返し)

- ・ スペシャルサポートルームの設置に向けて、空き教室の活用や校内体制の工夫など、学校独自の取り組みを進めているところもあると聞いています。
- ・ 様々な課題があることは理解していますが、児童生徒にとっての1日1日は非常に大切であり、支援を必要とする子どもたちの学びの機会の提供は必須です。
- ・ ぜひ他都市の事例なども参考にしながら、あらゆる手法を検討し、スペシャルサポートルームの設置や支援体制の充実について、より積極的に取り組みを進めていただくことを要望しておきます。 (226 字)

2-4 外国人児童等の日本語指導体制について

- ・次に、外国につながる児童生徒の日本語指導の支援についてお伺いします。
- ・この間わが会派から日本語指導の在り方についてさまざま問題提起をしてまいりました。
- ・教育委員会としてもプレクласの期間延長や指導者不足を補うために民間事業者の活用を検討するなど、取組が進んできたということは認識しているところです。
- ・しかしながら、外国から編入した児童生徒は一定期間のプレクラスを終えても、日本語が十分でないまま地域の学校に通い、学校生活を送りながら日本語指導を受けているという現状があります。
- ・教育委員会としては日本語が話せない児童生徒が地域の学校に通うことによって、学校現場に負担や混乱が生じている実態を課題としてどのように把握しているのでしょうか。

- ・また、プレクラスの期間を一律に延ばしたとしても全ての児童生徒が同様に日本語の力がつくものではなく、誰一人取り残さないという考えに立った時には、児童生徒一人ひとりの日本語レベルをしっかりと見極めたうえで、地域の学校に通えるようにするといった履修主義から修得主義への転換が必要だと考えます。
- ・それに伴い共生支援拠点での学び方についても一斉指導だけでなく、さまざまなICTのツールを使って個別最適な学習形態も取り入れていくべきだと考えます。
- ・日本語が話せないまま地域の学校に通う児童生徒の中には、学校に馴染めず不登校となり、社会的なつながりも希薄なまま犯罪に巻き込まれてしまうケースもあると聞いております。
- ・これからも増加が見込まれる外国籍の子どもたちに対して、プレクラスの役割を現在の「サバイバル日本語を獲得する場」ではなく、「日本語である程度の意思疎通ができる」レベルまでの日本語習得へと引き上げ、地域の学校に日本語が話せない子どもが通うことによって現在起こっている混乱や負担を解消すべきだと考えますが、今後の日本語指導体制について教育長の見解をお伺いします。 (788字)

3 安心できる市民生活について

3-1 介護予防の更なる推進について

- ・次に、安心できる市民生活について、お伺いします。
- ・介護予防の更なる推進について、お伺いします。
- ・我が会派では、介護サービスを必要としない元気な高齢者を増やしていくため、健康寿命の延伸と介護予防の取組の一層の推進について継続して質疑を行ってきました。
- ・市長におかれましても、介護予防を推進させる強い意志のもと、「介護予防推進プロジェクトチーム会議」における外部有識者のご意見等を踏まえて、今年度から「すかいプロジェクト」を立ち上げ、「介護予防にあまり関心のない人」等を主なターゲットに、これまでにない多様な事業を実施されてきたところです。
- ・例えば、介護予防を知っていただくための広報の取組では、幅広い世代に人気のある「介護予防アンバサダー」にご活躍いただき、親しみやすく魅力的な介護予防ガイドブックや動画を作成・配布され、非常に好評であります。また、アンバサダーが出演された啓発イベントには多くの方が来場されるなど、介護予防への関心は着実に高まってきているのではないかと考えます。

次のページへ

- ・この流れを一過性に終わらせるのではなく、継続的に取組を進めていくことが重要です。
- ・その中で、以前から指摘しているとおり、介護事業者に対して、介護予防や重度化防止の意識を広く浸透させていくためのインセンティブ制度も速やかに実施していくべきと考えます。
- ・それとともに、長期的な視点に立ち、これまでの取組の実績をしっかりと検証し、より効果的な施策を展開していくことが必要ではないでしょうか。
- ・「すかいプロジェクト」を通じて、大阪市の介護予防の取組を実効性のあるものとして定着・推進し、将来につなげるためにどのように取り組まれるのでしょうか、市長のご所見をお伺いします。　（712字）

て

- ・次に、重い病気を抱える子どもと家族への包括的支援の充実についてお伺いします。
- ・医学の進歩により、かつては治療が難しかった小児がんなどの重い病気に対しても、長期にわたる治療や在宅での療養が可能となってきております。
- ・一方で、病気とともに生きる子どもやその家族にとっては、日常生活における身体的・精神的負担が大きく、療養の過程で孤立を感じるケースも少なくありません。
- ・病気であっても「こどもらしく生きること」、そして「こどもとしての権利が守られること」が大切です。
- ・同時に、支える家族の負担を軽減し、安心して看護や療養に向き合うことができる環境整備も小児緩和ケアの重要な要素であり、医療だけでなく、教育・福祉・地域が一体となって子どもと家族を包括的に支える仕組みづくりが求められます。
- ・国の動きとしても、小児緩和ケアの普及啓発や拠点づくりについて、民間による取組を行政が後押しする体制を整え、支援のあり方を具体的に示しています。

次のページへ

- ・本市においても、小児緩和ケアの考え方を広げ、こどもや家族が地域の中で安心して過ごせる環境づくりを進めていくことが必要であり、昨年 12 月の市長に対する予算要望の中でも、必要性について訴えさせていただいたところでは。
- ・本市においても、今回新たに予算を計上されるとのことですが、重い病気を抱えるこどもと家族が安心して地域で過ごせる環境づくりについて、どのように取り組んでいくのでしょうか、市長のご所見をお伺いします。

(610 字)

3-3 特区民泊の調査結果を踏まえた今後の対応について

- ・次に、特区民泊の調査結果を踏まえた今後の対応についてお伺いします。
- ・本市では、本年5月29日に特区民泊の新規受付を終了することとなります。
- ・今後は、既存の特区民泊施設の適正運営の確保が市民生活の安心・安全につながります。
- ・今回、特区民泊の全施設を対象とした営業実態調査を実施し、あわせて、過去の苦情等も分析したうえで、優先的に調査を実施する「重点監視施設」を抽出すると聞いています。
- ・迷惑民泊根絶チームによる監視指導を4月から本格化させるとのことですが、既存特区民泊については、既に多くの苦情が寄せられていることから、待ったなしの状況であり、早急に対応していく必要があります。
- ・今後、どのように監視指導を通じて苦情抑制及び悪質事業者の排除などを目指していくのでしょうか。
- ・また、この間、監視指導だけでは改善が難しく対応に苦慮した案件も多くあったと聞いていますが、これらの課題についてはどのように対応していくのか、市長のご所見をお伺いします。 (413字)

3-4 ギャンブル等依存症対策について

- ・次に、ギャンブル等依存症対策についてお伺いします。
- ・ギャンブル等依存症は、他の依存症と同様に、個人の生活や家庭環境に影響を及ぼす可能性がある社会的課題であり、予防、早期発見、回復支援を含む総合的な対応が求められます。
- ・また、国内初となるIRの開業を控える本市としては、ギャンブル等依存症対策を強化し、先進的な取組みを進めていく必要があります。
- ・IR区域整備計画においては、新たなワンストップ支援拠点として、府市共同で「（仮称）大阪依存症対策センター」を設置することとされており、その設置に向けた「基本計画」を令和8年度中に作成するとのことです。
- ・設置当初から拠点機能を発揮し、よりよいサービスが提供できるよう、基本計画の策定をしっかりと進めることはもちろん、果たすべき機能の構築といった準備を計画的に行う必要があると考えます。
- ・また、市民に身近な基礎自治体としての役割も有する本市としては、実効性のある施策についても充実させるべきであると考えますが、あわせて市長のご所見をお伺いします。

(438 字)

3-5 水道インフラの強靱化の推進について

- ・次に、水道インフラの強靱化の推進についてお伺いします。
- ・市民生活や都市活動を支える水道インフラについては、全国で度々漏水などの事故が報道され、本市においても、昨年5月には城東区、7月には東淀川区、9月には港区と相次いで、道路などの冠水を伴った漏水事故が発生しており、市会でも各会派からの質疑が行われるなど、改めてその重要性が注目されております。
- ・こうした状況を受け、昨年夏頃に市長から水道局に対し、管路更新ペースの引き上げについての検討を行うよう指示され、先月の記者会見において、市長ご自身が水道インフラの強靱化を一層推進していくことを表明されております。
- ・こうした水道インフラの強靱化については、水道局でこれまでも継続的に対策を進めてきたと思いますが、このたび一層の強化を図るに至った市長のご所見を伺います。

(351 字)

3-5 水道インフラの強靱化の推進について (返し)

- ・ 水道は市民の命と暮らしを支える不可欠なライフラインであることから、必要な投資や財源確保を十分に検討し、強靱で持続可能な水道を築き、次世代へ確実に引き継いでいく取組を強く進めていただきたいと考えます。 (99 字)

3-6 水道事業における財源の確保について

- ・次に、水道事業における財源の確保についてお伺いします。
- ・先日、水道事業に寄与することを望まれる方から、金塊 21 キログラム、5 億 6 千万円相当の寄付を受けたと公表があったところですが、水道インフラの老朽化については、多くの市民が関心を持っているところであり、管路更新のペースアップについては、このような状況も踏まえ、確実に取り組んでいただきたいです。
- ・報道によると、高市総理から国土交通大臣への指示書において、「老朽化インフラ対策、耐震化の加速」を含む「令和の国土強靱化対策」の推進が盛り込まれるなど、国を挙げて取組が進められているところですが、水道事業を担う自治体の財政事情は総じて厳しいものがあり、昨今は、物価高の影響もあり、横浜市、神戸市、名古屋市などの大都市も含め、各地で水道料金の値上げが相次いでいるとのニュースをよく目にするようになりました。

次のページへ

- ・一方、本市では、平成9年の料金改定を最後に約30年間値上げをせず、一般家庭の水道料金は、大都市の平均が3,043円であるのに対して、2,112円と低い水準であるものの、本市の布設から40年が経過した水道管路の割合は半分を超えています。これは、大都市の中でも突出しているため、市民の安心・安全に必要な投資を行い、水道インフラの強靱化を進めていただきたいところです。
- ・先日水道局が公表した水道事業の収支見通しを見ると、令和11年度には資金不足が生じ、さらに令和12年度には収支が赤字に転じるという厳しい見込みが示されていますが、今後の市民負担のあり方も含め、財源確保に向けた市長のご所見をお伺いします。 (658字)

3-7 中央区ビル火災を踏まえた再発防止策について

- ・次に、中央区ビル火災を踏まえた再発防止策についてお伺いします。
- ・令和8年1月30日、消防局から「大阪市中心区ビル火災事故調査報告書」が公表されました。事故調査報告書では事故の原因を「現場では想定しがたい延焼経路、予測困難なバックドラフト」「情報錯そうなどにより指揮命令及び検索活動が困難」であったと結論付けされています。
- ・我が会派としても、火災現場で活動する消防職員はもちろん、市民の安全な暮らしを守り、同種の事故を二度と起こさないため全力で再発防止に取り組むべきだと考えております。
- ・また、報告書では火災が屋外広告物などに延焼し急速に拡大したことや、被災建物の屋外広告物は法で定められた不燃性能を有していないことも明らかにされています。
- ・火災のあったミナミだけでなく市内の鉄道ターミナル駅周辺の繁華街には多数の屋外広告物があり、それらの適正化に向けた取組も重要な課題として明らかになりました。

次のページへ

- ・こういった課題も含めて、スピード感を持って再発防止に取り組んでいくべきと考えますが、市長としてどのように認識しておられるのか、ご所見をお伺いします。

(467 字)

3-7 中央区ビル火災を踏まえた再発防止策について (返し)

- ・ 調査で明らかになった課題を一つひとつ着実に解消し、現場の安全確保と繁華街の防火対策を徹底し、市民に安心していただける取組を強く求めます。あわせて、被害を最小限に抑えるための初期消火体制の強化や、地域防災力の向上なども含めて、市民・事業者・行政が一体となった実効性ある対策の推進を強く求めます。

(146 字)

4 持続可能な自治体への成長について

4-1 区役所の建替えについて

- ・次に、持続可能な自治体への成長について、お伺いします。
- ・区役所の建替えについて、お伺いします。
- ・今年度、10 区区役所建替えの基本計画について一般質問では、計画通りの順番にこだわることなく建替え用地などの検討が整ったものから進めるように要望したところ
です。
- ・来年度からは、早速、阿倍野区役所の基本構想の検討に入ると聞いています。
- ・区役所については、言うまでもなく 24 区の行政サービス窓口として必要な機能であり、今後も維持することには変わりありません。
- ・一般質問でも要望した通り、順番にこだわらず用意が整ったところから進めるためにも、建替え計画の 10 区が自主的・自発的に建設用地の確保や複合化に向けて、検討する必要があると考えます。
- ・基本構想の策定においては、各区の実情に応じたスキームとなるようにご検討していただきたいと考えます。

次のページへ

- ・ 日々進むDXに対応できるように、固定したものではなく柔軟に検討出来ることが必要であると考えます。また、執務スペースにおいてもフリーアドレスなど時代に応じた計画が出来るようにすべきです。
- ・ 複合化・多機能化やローリング方式による建替えを検討するにあたり、本市の行政施設だけに留まることなく、国や大阪府の施設はもちろんのこと、市民に必要な区内の公的医療機関や郵便局などの建替えにも注視して効率的な検討を行うことが市民生活の向上にもつながり、持続可能な自治体運営になると考えますが、市長のご所見をお伺いします。 (605字)

4-2 オンデマンドバスのめざす姿について

- ・次に、オンデマンドバスのめざす姿について、お伺いします。
- ・A I オンデマンド交通の運行エリアが3月から拡がり、市内全域で大阪メトロのオンデマンドバスの社会実験が実施されます。
- ・この新たな交通手段であるオンデマンドバスは、これまでの路線バスのバス停よりもより身近な場所で乗り降りできるなど、きめ細やかな交通として、大いに期待しております。
- ・オンデマンドバスには、地域の方々にとって使いやすい乗降場所の設置や、車いす対応などの課題もありますが、まずは乗って体感し、幅広い利用者を増やしながらかこの交通手段を育てていき、持続的な事業としていくことが重要と考えます。
- ・また、オンデマンドバスの予約の仕方や、利用方法がわからない方、大阪シティバスの路線バスで敬老優待乗車証をお使いの方など、現状として、一部の高齢者の方からは、まだまだ利用しにくいとのお声も聴きますので、こどもから高齢者まで、誰もが利用しやすくしていく必要があります。

[次のページへ](#)

- ・ 今後のオンデマンドバスのめざす姿について、市長のご
所見を伺います。 (439 字)

5 万博のレガシーを継承する新たな成長戦略の取組について

5-1 「Beyond EXPO 2025」について

- ・次に、万博のレガシーを継承する新たな成長戦略の取組についてお伺いします。
- ・「Beyond EXPO ^{にーぜろにーごー}2025」について、お伺いします。
- ・昨年10月の万博閉幕から4カ月が過ぎました。
- ・開幕前から賛否両論あり、ネガティブな発信も多かったのですが、閉幕が近づくにつれて大盛況となるなど、いまだにその熱気が続いているような状況です。
- ・この「大阪・関西万博」は、『いのち輝く未来社会の実験場』というテーマのもと、本当に多くの最先端技術が披露され、様々な国・地域との交流が行われるなど、大阪の都市の魅力やポテンシャルを世界に発信できたものと考えます。
- ・このような万博で培った経験や、これまでの様々な取組によって得た成果などを大阪の未来に繋げていくことが非常に重要です。
- ・今般、万博後の大阪の成長及び発展に向けた府市一体の戦略である「Beyond EXPO 2025」の最終案が取りまとめられたところですが、まさにこの戦略が万博の成果を未来に繋げていくための取組の羅針盤であるといえます。

次のページへ

- ・そのため、「Beyond EXPO 2025」という大阪の成長戦略を進めるにあたり、大阪の未来に向け、万博のレガシーを継承・発展させ、それを推進していくための体制が必要と考えますが、具体的にどのように進めていくのか、市長のご所見をお伺いします。 (513 字)

5-2 「ゼロカーボンおおさか」の実現に向けた新たな脱炭素化の

推進について

- ・次に、「ゼロカーボンおおさか」の実現に向けた新たな脱炭素化の推進について、お伺いします。
- ・温暖化が地球規模で進行する中、温室効果ガス削減の取組みは、単に環境課題の解決だけでなく、経済成長を果たしていくうえで非常に重要と考えます。
- ・本市においては、2050年の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンおおさか」の実現をめざし、「大阪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、取組を進めてきていますが、近年、市域の削減状況は下げ止まっています。
- ・こうした中、令和6年度補正予算において、もと森之宮工場跡地の売却収入・約55億円を環境創造基金へ積み立てる際、市長からは、この財源を起爆剤として市域の脱炭素化を一層加速させるとともに、万博後のさらなる成長・発展の目玉として環境と経済のシナジーを発揮させ、2050年「ゼロカーボンおおさか」を実現していく決意が示されました。

次のページへ

- ・その後開催された万博においては、ペロブスカイト太陽電池をはじめ脱炭素に関する新技術が披露され、来場者にも脱炭素社会を身近に感じていただけたと思います。
- ・万博が成功裏に終わった今こそ、これらをレガシーとして未来に引き継ぎ、環境の課題解決と大阪の経済成長を加速させていくべきと考えますが、市長はどのように取り組みを進めていこうとされているのか、ご所見をお伺いします。 (560字)

5-3 宿泊税を活用したミナミの環境改善について

- ・次に、宿泊税を活用したミナミの環境改善について、お伺いします。
- ・大阪観光局の発表によると、2025年に大阪府を訪れた外国人客数は、前年比21%増の1,760万人と過去最高を記録しました。大阪・関西万博の開催を追い風に、国内外から多くの観光客が大阪を訪れ、国際観光都市としての存在感を高めており、なかでも、道頓堀を有するミナミエリアは、国内外の観光客が集中する、まさに大阪観光の中心となっております。
- ・一方、その賑わいの陰で、ミナミエリアでは、ごみのポイ捨てや路上喫煙、悪質な客引きなど、まちの環境や治安、景観に関わる問題について、地域や商店街、事業者の皆さまからも、環境改善を求める声が強まっており、この間、我が会派から何度も議会の場で取り上げ、議論を進めてまいりました。

- ・ そのような中、令和7年8月29日には「ミナミの環境改善に向けた庁内検討会議」が開催され、市長からは、地域ニーズも踏まえながら主体的かつ積極的に検討を進め、関係区局が緊密に連携するよう指示がなされました。その後、我が会派からの質疑に対し、市長から、「行政として担うべき役割をしっかりと果たし、重点投資を行い、実効性のある取組を進めていく」との決意も示されました。
- ・ そこで、持続的な対策を講じるうえでは財源の確保も重要であり、来阪観光客の多くは大阪市内に宿泊していると考えられることから、宿泊税が有効に活用されることも重要であると求めてきたところです。
- ・ ミナミの環境改善に向けた取組を今後どのように具体化し加速させていくのでしょうか。また、大阪を代表する繁華街であるミナミについて、今後どのように取り組まれるのか、市長のご所見をお伺いします。 (692字)

5-3 宿泊税を活用したミナミの環境改善について (返し)

- ・大阪観光の中心であるミナミにおいて、すべての方が安心・安全に過ごせるよう、スピード感を持った実効性のある取組を講じていただくことをお願いいたします。
- ・今後も府市が一層連携し、ミナミが美しく快適なまちであり続けるため、宿泊税を継続的に活用するとともに、大阪市が実施する観光施策の財源としての活用がさらに進むよう強く要望いたします。 (163 字)

5-4 新たな観光コンテンツの創出について

- ・次に、新たな観光コンテンツの創出についてお伺いします。
- ・10年前から始まった動物園、美術館、慶沢園の整備拡充など天王寺エリアの魅力向上は益々の発展を見込めるところであり、大阪市の南の玄関口である天王寺の活性化の中心にあると言えます。
- ・そこでこれらの観光資源を更に活かせるよう、新しい施策を仕掛けていきたいところです。
- ・たとえば、昨今観光施策として脚光を浴びているロープウェイは、観光誘致と移動手段の両方を兼ね備えており非常に有意義なコンテンツだと認識しております。
- ・また、技術革新が進んだため、大幅なコストダウンが見込まれ、非常に採算性の高い事業としても注目されております。
- ・万博を成功裏に収めたこの機会に更なる観光の呼び込みに寄与するであろうことは間違いのないといえます。

次のページへ

- ・ 導入にあたっては、地上を渡すことや、支柱を建てるための地下構造物についてなど、様々な課題は想定されますが、天王寺公園エリアに限らず、市域全体で考えて、例えば観光拠点であります大阪城エリア、IR実施予定の夢洲エリア、または、2037年フルモール化になる御堂筋エリアなど、効果的なロープウェイ設置を模索して欲しいと思うところです。
- ・ まずは、市域においてどこでなら効果的な導入が見込めるか、事業者へのヒアリングを含めた調査を実施して欲しいと思います。
- ・ 市長のお考えをお答えください。 (563字)

5-5 夢洲第2期区域における記念公園ゾーンについて

- ・次に、夢洲第2期区域における記念公園ゾーンについてお伺いします。
- ・夢洲においては、第1期区域のIR建設工事が2025年4月に着工され、第2期区域においても、万博レガシーを継承したまちづくりを着実に進めていくことを期待しています。
- ・万博レガシーの継承と発信に向け、先月開催された副首都推進本部会議及び戦略会議では、大屋根リングを一部残置し、その周辺エリアを万博のレガシーを継承する記念公園として整備、情報発信・交流のための記念館の設置に向け、関係者調整を進めることが確認されました。
- ・万博開催地である本市が、大阪府と連携して大屋根リングや記念館を含む記念公園ゾーンの整備に向け取り組むことは、万博レガシーを継承・発信していくうえで大変重要です。
- ・こうした取組を持続可能なものとするためには、財源の確保が重要であり、先日の副首都推進本部会議及び戦略会議での確認を踏まえて、万博の運営剰余金、国の交付金や補助金の活用に向けて関係者としてしっかり調整いただきたいと考えます。

[次のページへ](#)

- ・また、記念公園や記念館の整備・管理運営については、府市が負担し、国の交付金や補助金、個別企業の協力を検討することとなっており、来年度予算案で記念公園ゾーンの整備に向けた検討調査が挙げられていますが、今後、市の負担を少しでも軽減させるために民間資金の活用も検討したうえで、整備内容や、事業費の精査をしっかりと進めていくべきだと考えます。
- ・万博レガシーの継承と発信の取組が持続可能なものとするための財源の確保や、記念公園ゾーンの整備・管理運営の検討について、今後どのように進めるのか、市長のご所見をお伺いします。 (675 字)

結文

以上縷々質問して参りましたが、
これまで橋下市政から始まった我々維新の大阪での改革は
まだまだ道半ばでございます。

徹底的な行財政改革によって生み出した財源により、
それまで出来なかった医療、福祉、教育への重点投資、
その中でもとりわけ教育子供予算に限っては
一貫して重点投資して参りました。

14年前と比較すると、
それは、子供が育たない街に未来は無いという
強い政治理念からです。

一方で、無い袖は振れないというのも事実であり、
これまで自治体の意識としてあまり向けられていなかった
税収の確保にも努めるべく

まずは起爆剤として万博開催に府市が一体となり誘致し、
昨年実現を果たす事が出来、
結果成功裏に収めたことは

ここにいる議員の皆様へは言うまでもないかと存じます。
終始、万博開催を反対されておられた山中議員でさえ、
3回もご来場いただいたとお聞きしております。

次のページへ

大阪は非常にポテンシャルの高い都市であることも
また言うまでもないですが、
それを生かすも殺すも市長をはじめ、
ここに集結しております 81 名の
280 万市民の代弁者である議員各位に委ねられています。
大阪の街が益々発展し、
市民の皆様が住みやすい街へと変貌を遂げる為に、
今の成長に決してブレーキをかけることなく、
市長はもとより、
議員各位におかれましてはご理解ご協力頂きますことを
切にお願いし、私の質問を終わります。
ご清聴ありがとうございました。 (599 字)